ごみの減量

担当：くらし安全課
電話：54－2780

Q10. ごみ焼却場が問題になっていますが、どうしたらごみを減らせるか先進市町の取り組みに学ぶ必要があると思います。

A10. **ごみの分別と各種助成金、奨励金の制度を充実し、ごみの減量と資源化に努めます。**

新クリーンセンターの供用が開始され、ごみの分別が増えるため混乱が生じないように準備をしているところです。現在、可燃ごみとして処理されている容器包装プラスチックは新たに分別してリサイクルされるようになりますのでご協力をお願いします。また、生ごみ処理機等助成事業、資源ごみ集団回収推進団体奨励金制度等を充実させ、ごみの減量と資源化に努めます。

雇用定住化

担当：まちづくり課
電話：54－2982

Q11. 子どもをもった夫婦が移住・定住できるように支援が必要だと思います。高齢者福祉も大切ですが、今後地域を支えていく若い世代に住んでもらえる町づくりを進めていくべきです。

A11. **現在の施策を充実させるとともに新たな施策を検討していきます。**

町では、義務教育終了前までの医療費無料化、企業誘致による就労の場の確保、子育て支援施策など定住促進に向けた施策を実施しています。今後その他の施策等についても現住者との均衡を図り検討していきます。

広報かがみの

担当：くらし安全課
電話：54－2780

Q12. 広報かがみのは町内のアパートなどにも配るべきだと思います。若く子育て中の方も知りたい情報が載っているので見るべきだと思います。

A12. **配布のない方は個別発送も行っていますのでご連絡ください。**

広報紙の配布につきましては、全世帯への配布を基本とし、老人クラブや各地区の配布員等によりお配りしています。また、アパート等にお住いの場合や常会等に入られていない世帯には個別発送も行っていますので、配布のない方はくらし安全課までお申し出ください。

ケーブルテレビの充実

担当：くらし安全課
電話：54－2780

Q13. ケーブルテレビの内容をもっと充実させてください。

A13. **自主制作番組の充実等を図っていきます。**

ニュース、自主放送番組の制作やケーブルテレビ振興協議会を通じての提供番組を増やし、放送内容の充実に努めます。

町営バス

担当：まちづくり課
電話：54－2982

Q14. 町営バスが空で走っていますが運営を考えるべきです。

A14. **皆様から多くの要望をいただいています。財源等の問題から厳しい状況では有りますが、利便性の確保に努めます。**

公共交通については、採算性の問題から民間事業者が撤退していく中で、町営バスを運行し、利便性の確保に努めています。運行については町民の方々から多くの要望をいただいているところですが、すべての方々に満足していただける運行は財源等の問題からも難しい状況でありますが、今後も効率的な運行になるように検討していきます。

休日窓口

担当：総務課
電話：54－2111

Q15. 月に2度くらい土曜日に窓口を開けることができないか。

A15. **毎週月曜日は午後7時まで窓口延長していますのでご利用ください。**

現状では情報管理や人員配置等の面から、週休日及び祝祭日につきましては証明書等の窓口業務のサービスの提供ができません。そのため毎週月曜日（祝祭日を除く）に午後7時まで窓口を延長して対応していますので、ご利用いただきますようお願いします。